

おおぎみ

大宜味



広報 No.211

KOHO OGIMI 2012年10月号

「健康長寿の
いきいき輝く
文化の村」



小さな区の大きなまつり 白浜区豊年祭

豊年や地域の発展を祈願する白浜区(親川富成区長)の豊年祭が9月15日、同区公民館で催されました。区民や郷友会、今回から新たにアパートの区民も加わったほか、同区に沖縄の文化を学びに来ていた千葉明德短期大学の学生ら5名も準備から協力し、2年に一度行われる区の大イベントを盛り上げました。親川区長は「台風の影響もあったが、区民や郷友会、若い人の力が一つになり豊年祭を成功させることが出来た」と喜びました。

「大宜味自慢のシークワサーいかがですか」



搭乗口付近でも機内にも乗り込む乗客に青切り果実を配布



子どもから大人までシークワサーを堪能

◆ 那覇空港で特産品をPR

青切りシークワサーを県民と県外観光客に広くPRしようと大宜味村シークワサー産地振興協議会（島袋義久会長）は9月5日、那覇空港ターミナル2階のウエルカムホールでPRイベントを開きました。イベントには島袋義久村長をはじめ、村商工会や村のシークワサー関係者らが参加。大宜味村が同空港でイベントをするのは初めての試みで県内外の報道関係者も多数取材に訪れました。青切りシークワサーを絞った料理やシャーベットの試食・試飲コーナーでは、多くの観光客らが足を止めてシークワサーの味を楽しみました。また、地域のおばあちも応援団として参加し、「ゆんたくコーナー」では観光客らと会話しながらシークワサーだけでなく、「長寿の里 大宜味村もPRしました。」

島袋義久村長は「青切りシークワサーは機能性が高く、料理にも活用しやすい。多くの人にシークワサーの良さを知ってもらえるようにPRしていきたい」と話しました。

青切りシークワサー果実の出荷箱の販売を開始します。



大宜味村シークワサー産地振興協議会では青切り果実を出荷する際に利用する出荷箱の販売

をしています。規格は1Kg入り（30円）と2Kg入り（50円）の2種類あります。

なお2Kg入りの出荷箱はシークワサー果実だけでなく関連商品のギフト用にも利用出来ます。ぜひご活用していただけますようお願い致します。

販売は役場シークワサー振興室窓口で受付しています。

詳しい話は シークワサー振興室
☎ 0980-44-3084

大宜味村ブランドのシークワサーを作るお!!

「加工用シークワサーの取り扱いが始まっています」



大宜味村特産品（シークワサー）加工施設では下記の内容で今年度の加工用シークワサーの取り扱いを開始しています。大宜味村独自のシークワサー商品づくりにご協力よろしくお願い致します。

- ①受け入れ日時
毎週月曜日から土曜日（午前9時から午後5時まで）
- ②受け入れ場所
大宜味村特産品加工施設（字田港）

なお、持込みをされる生産者は事前に選果を行い、消費者へ安心安全の取り組みを理解していただくための**防除履歴**を作成し提出のうえ搬入していただけますようお願い致します。

詳しい話は 大宜味村特産品加工施設
☎ 0980-44-2312

村と内閣府沖縄総合事務局が

共同で災害対策

協定書に調印



大宜味村内で発生した災害に迅速かつ的確に対応するため、大宜味村と沖縄総合事務局は9月12日、災害時の応援内容等について定めた「災害時の情報交換及び応援に関する協定」を結びました。応援内容は、災害時に村の災害対策本部に情報連絡員（沖縄総合事務局の職員）を派遣し情報交換を行う、沖縄総合事務局の所有する災害対策用資機材（防災ヘリコプター、衛星通信機器、災害対策本部車、照明車等）の派遣となっています。また、普段から必要に応じて共同防災訓練や防災に関する地図等の資料の整備に協力することなども盛り込まれています。那覇第2地方合同庁舎2号館で同日、島袋義久村長と樋谷裕司内閣府沖縄総合事務局長が協定書に調印しました。



災害時の協力を約束し樋谷局長と握手を交わす島袋村長

大宜味食材を使いプロの料理人が料理実演



屋比久総料理長のプロの技に釘付けになる参加者ら

うなど会場を盛り上げました。村長代理としてあいさつした宮城豊産業振興課長兼シークワサー室長は「食材だけでなく、大宜味村全体を愛（かな）さして、これを機会に大宜味村にもPRしました。」

大宜味村の食材を活用して一流の料理人が腕を振るう「第2回かなさキッチン料理講習会」（主催・沖縄タイムス社）が9月4日、那覇市のロワジールホテル&スパタワー那覇で開かれ、参加した約200人が青切りシークワサーや島ダコなど大宜味村産食材を使ったプロの料理人の技と創作料理の味を楽しみました。

講習会では、同ホテルの屋比久保総料理長がそば剥き身と野菜のリゾット、大宜味のシークワサーを食べた幸福豚の料理など計5品を演じました。司会進行はアイモコさんが務め、屋比久総料理長との掛け合いで笑いを誘うなど会場を盛り上げました。村長代理としてあいさつした宮城豊産業振興課長兼シークワサー室長は「食材だけでなく、大宜味村全体を愛（かな）さして、これを機会に大宜味村にもPRしました。」

比嘉悟さん

沖縄県指導農業士に



平成24年度の沖縄県指導農業士の認定を受けた比嘉悟さんと県の担当者は9月20日、認定の報告をするため島袋義久村長を表敬訪問しました。現在、村内で指導農業士の認定を受けているのは大城厚さんと比嘉さんの2人。指導農業士は、市町村の推薦をもとに県知事が認定します。比嘉さんはJAおきなわの営農指導員を経験後、自らもキク栽培など農業に従事。近年は、キク以外にも他品目の栽培を行い通年安定型の農業経営目指しながら、民泊体験農業者や新規就農希望者の受入を積極的に行い担い手育成についても熱心に取り組んでいます。

島袋義久村長は、「自らの経験を生かしてこれからも後輩たちの育成に力を入れて欲しい」と激励しました。比嘉さんは「10年間やってきたことが評価を受けた。これからも後輩の育成に関わって頑張っていきたい」と意気込みました。



指導農業士の認定を報告した比嘉悟さん

平成23年度決算に基づく健全化判断比率について

平成23年度決算に基づき算定した地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第94号)第3条第1項の健全化判断比率について、同項の規定により、次のとおり公表する。

(単位:%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	—	—	8.5	—
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	40.00	35.0	

備考:健全化判断比率のそれぞれの欄において「—」と表記されている場合は、赤字額がないこと、又は比率が算定されないことを表す。

算定方法

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

$$\text{実質公債費比率 (3カ年平均)} = \frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$$

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$$

平成23年度決算に基づく資金不足比率について

平成23年度決算に基づき算定した地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第94号)第22条第2項の資金不足比率について、同条第1項の規定により、次のとおり公表する。

(単位:%)

会計区分	資金不足比率	経営健全化基準
大宜味村簡易水道事業特別会計	—	20.0
大宜味村公共下水道事業特別会計	—	

備考:各会計の資金不足比率の欄において、「—」が表記されている場合は、資金不足が発生していないことを表す。

算定方法

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$

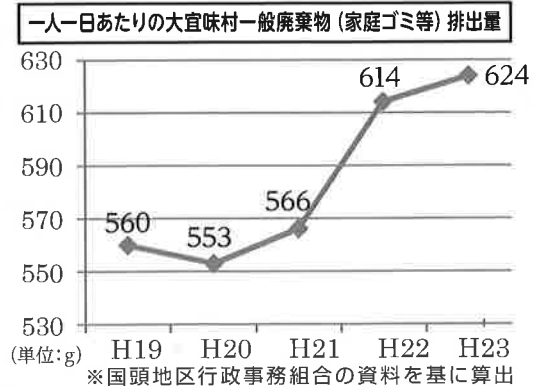


ゴミ減量化に向けてエコ生活を実践しましょう!

現在、大宜味村のゴミの量は右記グラフを見てのとおり徐々に増加しています。大気汚染・地球温暖化など生活環境への悪化を防止するために、ゴミを減らす必要があります。

私達にできる身近な取り組みの一つとして、一般廃棄物の発生抑制に取り組んでみませんか。

～環境への負荷が低減される「循環型社会」に向けて～
村では、村民・事業者と協働し、循環型社会の構築を目指すため、下記の「3R」活動を推進・実行していきたいと思います。



ゴミを減らすための「3R」活動

「3R」とは、Reduce (リデュース:減らす)・Reuse (リユース:再利用)・Recycle (リサイクル:再資源化)の頭文字を取ったものです。



Reduce (リデュース)

ゴミの発生を抑制し、減らすこと。
例: 買い物する時などで、現在必要な分だけ購入する。マイバックを持参し、レジ袋をもらわない。



Reuse (リユース)

修理したり洗浄したりして使えるものは、繰り返し使うこと。
例: 自分で使わなくなったもの等はリサイクルショップやフリーマーケットを活用する。



Recycle (リサイクル)

資源として再び利用すること。
例: 分別できるペットボトル、新聞紙、牛乳パック、空き缶等は分別ルールを守って出す。

今一度ゴミ減量化に向けて、みんなで取り組んでいきましょう!



助成で購入した備品で、より充実した区行事等に役立てていきます。

大保区では、平成24年度宝くじ助成事業(一般コミュニティ助成事業)の助成を受け、机・イス・音響機材一式を購入しました。

平成24年度 宝くじ助成事業

高齢者インフルエンザ予防接種のお知らせ



○大宜味村では下記のとおり、村立診療所にてインフルエンザ予防接種を行います。

●知っていただきたいこと・ご理解いただきたいこと

インフルエンザワクチンは、重症化やインフルエンザで亡くなるのを防ぐのに一定の効果が認められています。しかし、接種後腫れたり、熱が出るなどの症状が出るケースもあり、またまれではありますが重篤な症状を引き起こす可能性もあります。この予防接種は、任意の予防接種です。以上の点をご理解した上で、個人の判断により接種して下さい。

●接種対象者

- (1) 満65歳以上(接種時)で、自ら接種を希望する人
- (2) 60～64歳の型で心臓・腎臓・呼吸器・または免疫機能障害を有する身体障害者手帳1級の交付を受けている方

●大宜味村立診療所 予防接種実施期間・受付期間

接種期間	H24年10月25日(木)～H25年2月28日(木)
受付期間	午前8:30～12:00(土曜日は午前11:45まで受付)
	午後1:00～4:45

※役場への連絡・予約は入りません。
※通院されている方は診察時に接種を行います。

●接種料金

区分	自己負担
一般(課税・非課税)・生活保護	1,000円

※不明な点がありましたら、右記までご連絡ください。



お知らせ

暮らしに役立つ
情報コーナー

○お問い合わせ○

大宜味村役場
住民福祉課 保健衛生係
TEL 0980-44-3003



Tour De Okinawa 2012

交通規制についてのご協力のお願い

ツール・ド・おきなわ2012大会が平成24年11月25日(日)に開催されます。

大会の開催に伴い、下記のとおり交通規制が行われます。

住民の皆様には、大変ご迷惑をお掛けいたしますが、交通規制についてのご理解・ご協力をお願い致します。

■交通規制日時:平成24年11月25日(日)
午前7:35～午前9:25

■交通規制区域:国道58号線(大宜味村全域)

《お問合せ先》

NPO法人 ツール・ド・おきなわ協会 大会事務局
〒905-0009
沖縄県名護市宇字茂佐の森5丁目2番地-7
TEL:0980-54-3174 FAX:0980-54-3169
Website <http://www.tour-de-okinawa.jp>

人権相談所 を開設します。

無料

ひとりで悩まないで、
お話ししてみませんか。
いっしょに解決する方法を
見つけましょう。

人権イメージキャラクター
人KENあゆみちゃん



と き:平成24年10月19日(金)
(午後1時30分～午後4時30分)
と ころ:大宜味村役場第2会議室



人権イメージキャラクター
人KENまる君

●相談内容●

近隣とのトラブル、離婚など
家族内のもめごと、児童・生徒
間のいじめや体罰など人権に
関する困りごと、心配ごと

電話での
相談は
こちらへ

子どもの人権110番 TEL.0120-007-110
女性の人権ホットライン TEL.0570-070-810
【問い合わせ先】全国共通人権相談ダイヤル TEL.0570-003-110

那覇地方法務局名護支局
名護人権擁護委員協議会

平成25年度

公立大学法人名桜大学 専任職員採用試験募集概要

1. 職 種 事務職員
2. 募集人員 若干名
3. 応募資格 次の(1)から(3)のすべてに該当する者。
(1)自己研鑽意欲があり、教育研究活動に誠意を持って業務に専念し、名桜大学の将来を共に築き上げて行くことに賛同する者
(2)一般事務において、支障なくWord,Excel等を使いこなせる者
(3)次の①から③のいずれかに該当する者
①平成25年3月31日までに4年制大学を卒業見込み又は大学院を修了見込みの者
②4年制大学を卒業又は大学院を修了した者で昭和58年4月2日以降に出生した者
③就業経験を有し昭和48年4月2日以降に出生した者
4. 採用年月日 平成25年4月1日
5. 提出期間 平成24年10月22日(月)～平成24年11月9日(金) 郵送必着(※消印不可)
※応募封筒に「職員採用応募書類」と朱書きのうえ、関係書類を郵送下さい
6. 採用試験 公立大学法人名桜大学で実施する
第1次試験(教養試験) 平成24年11月25日(日) ※13:30までに集合
第2次試験(小論文・面接) 平成24年12月23日(日) ※第1次試験合格者
7. 応募書類 (1)自筆履歴書(JIS規格履歴書・写真添付)
※ただし、新卒者については各大学仕様の履歴書可
(2)志望理由書(A4版一枚、ワープロ横書き800字以内)
(3)返信用封筒2通(受験票及び試験結果の送付用として使用します。長形3号(12cm×23.5cm)の封筒の表に、本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、80円切手を貼って下さい。なお、封筒に記入する住所は、申込書の「現住所」又は「連絡先」のいずれかとする。)
(4)写真2葉(縦4cm×横3cm)※受験票に使用します。
(5)健康診断書(第1次試験合格者)
※応募書類は返却いたしません。
※応募書類は職員採用試験に関わる選考にのみ使用し、それ以外の目的では一切使用しません。
8. 問 合 先 公立大学法人名桜大学 総務課職員係
〒905-8585
沖縄県名護市字為又1220-1
TEL:0980-51-1100 FAX:0980-52-4640
E-mail:info@mga.meio-u.ac.jp

第28回 ★★★★★ やんばるの産業まつり

日時 平成24年10月13日(土)～14日(日)
午前10時～午後8時 ※屋内は午後7時まで
場所 名護市21世紀の森体育館

「ホップ!ステップ!ジャンプ!やんばる地域力大・集・合 ～地産・地消～・他消～」をメインテーマに「第28回やんばるの産業まつり」が名護市21世紀の森体育館をメイン会場に開催いたします。
やんばるを代表する秋のイベントとして、やんばるの特産品の展示即売などやんばるの自慢が一堂に大集合。県外特別出店や各種ステージイベント盛沢山。
10月13日・14日は、やんばるの産業まつりへ。

- ◇駐車場 名護漁港臨時駐車場
(会場までシャトルバス運行)
- ◇問合せ やんばるの産業まつり実行委員会
TEL.090-8357-4433
TEL.090-3907-9309

土地境界問題無料相談会

土地の境界問題や建物の登記問題などでお悩みのある大宜味村民の皆様を対象に、無料相談会を開催する事となりましたので、お気軽にご相談下さい。

1. 日 時 平成24年11月6日(火)
午前10時から午後4時まで
2. 場 所 大宜味村役場内にて
3. 相談内容 隣接地主との土地の境界問題
新築・増築した建物の登記問題など

問い合わせ 沖縄県土地家屋調査士会
Tel.098-834-7599

交通安全全推進村民大会

思いやりとマナー遵守で事故防止

平成24年秋の全国交通安全運動の一環として、大宜味村交通安全推進村民大会（主催 村・村交通安全推進協議会）が9月21日、大宜味小学校で開かれ、村内小中学生や関係者ら160人余りが参加しました。運動のスローガンは「車にも 乗せよう マナーと 思いやり」。

大会では、交通安全作文コンクールの入賞者の発表が行われ、8人が表彰されました。小学生から一般まで6人の意見発表もあり、飲酒運転根絶や交通安全の大切さを訴えました。同協議会の会長を務める島袋義久村長は「みんなが思いやりをもって行動すれば事故は防げる。互いに声を掛け合いながら、交通ルールを守りましょう」と呼びかけました。

交通安全作文コンクール受賞者は左記のとおりです。



交通安全作文コンクールで表彰された生徒たち

- 名護警察署長賞
平良 悠翔（喜如嘉小3年）
- 名護地区交通安全協会賞
平良 優亜（喜如嘉小5年）
平良 琉翔（大宜味小2年）
- 村交通安全推進協議会入賞
宮城 南美（塩屋小6年）
新城 太然（塩屋小3年）
宮城 佑喜乃（大宜味小6年）
花城 瑞姫（津波小6年）
照屋 希紗乃（津波小2年）
金城 琉椰（大宜味中2年）

大兼久と根路銘・上原が防災訓練



高台に避難する大兼久の区民たち

大兼久区と根路銘区・上原区は9月9日、津波を想定した防災避難訓練を行いました。今回の防災訓練は、県の総合防災訓練の日に合わせ各区が主体的に取り組んだもの。

大兼久区は約55人が防災訓練に参加し、津波時の避難場所に指定されている大兼久林道の高台やメンバー、展望台の3ヶ所に避難しました。訓練では非常用の鐘を鳴らし区民に避難の呼びかけを行ったほか、今年4月に結成した同区の自主防災組織が中心となり、各班の誘導係が近所の高齢者の避難確認や誘導などを行いました。大兼久区の前田正宏区長は「区民が災害に対する危機意識をもって参加し、隣近所で声を掛け合いながら避難訓練に取り組んでくれた。災害時に対応できるよう継続的に訓練を実施していきたい」と話しました。

根路銘区・上原区では海神祭の全体の作業日にあたっており、両区の共同避難訓練となりました。約60人が参加し、13mの高台にある根路銘区のメンバーに避難。根路銘区の宮城健隆区長は「これまで防災に対する取り組みをしてきた。日頃の訓練がいざという時に自分たちの身を守る」と力を込めました。

塩屋区で

交通安全高齢者大学開催



宮城功光さんの講話に耳を傾ける参加者たち

正しい交通マナーを学んでもらい高齢者の事故を防止しようと「平成24年第2期・やんばる交通安全高齢者大学」が9月20日

と27日の2日間、塩屋公民館で開かれ地域の高齢者や関係者ら約50人が参加しました。

20日は交通ルールを解説したDVD放映や名護警察署職員による同署管内で発生した事故の事例紹介のほか、飲酒運転根絶アドバイザーを務める宮城功光さんが講話を行いました。同署の幸喜一史副署長は「高齢者の事故で多いのは、夜間と横断歩道以外の場所で起きている。横断歩道の利用と夜間の外出時は反射材などを使用してほしい」と呼びかけました。

参加した宮城キクさんは「日頃から道路を横断するときは注意しているが、今日の話は大変勉強になった」と満足そうに話しました。

村の人口

8月末現在

男 1,740人(+4)
女 1,649人(-4)
計 3,389人(0)

世帯数 1,678世帯数(+4)
出産 3人 転入 11人
死亡 7人 転出 7人

※注()内数は対前月比

ご寄付

◆村社会福祉協議会へ

◎喜如嘉区
山城 ヤス 様 金一封

米寿祝を記念して

◎喜如嘉区
山城あき子 様 金一封

米寿祝を記念して

◎大兼久区
山川 ハツ 様 5万円

カジマヤー祝を記念して

◆塩屋小学校へ

◎喜如嘉区
宮徳建設 様 20万円

◎沖縄市



平成24年度 沖縄県広域地震・津波避難訓練

県下一斉!!

避難訓練を実施

※一部の市町村・参加団体では訓練時間が異なります。



平成24年11月5日(月)14:00開始

※訓練日は、県内各地において、避難訓練を実施します。

満1歳お誕生日おめでとう!!

(カンカー祝) ☆世界にたったひとつだけのスマイル☆
明るく・元気で・素直に すくすく育てね



つむぎ
相川 紬ちゃん
(塩屋)



さな
金城紗奏ちゃん
(塩屋)



こはく
越智琥珀くん
(大保)

輝く未来の大宜味っ子!

10月

October November
月1日~11月10日

大宜味村カレンダー



1月	◆区長会 振替休日(各小・中)
2火	
3水	
4木	
5金	
6土	◆地区中学校陸上競技大会 ◆塩屋保育所運動会
7日	◆幼稚園運動会
8月	体育の日
9火	振替休日(幼稚園)
10水	◆村校長教頭合同研修会
11木	◆定例教育委員会
12金	
13土	◆喜如嘉保育所運動会
14日	◆大保ダムまつり
15月	
16火	◆校内お話大会(大小・塩小・津小)
17水	◆村教委学校計画訪問⑤(塩小) 校内お話大会(喜小)
18木	◆村教委学校計画訪問⑥(喜小)
19金	◆法律・行政・人権合同相談 13:30~役場第2会議室(旧法務局) ◆村学校保健委員会②講演会
20土	◆辺土名地区ミニバス交歓会
21日	◆郡陸上競技大会 ◆県民体育大会ゴルフ競技

22月	
23火	
24水	
25木	◆村童話お話大会
26金	
27土	
28日	◆老人婦人合同スポーツ大会
29月	
30火	
31水	
11月	November
1木	◆区長会
2金	
3土	文化の日
4日	◆塩小わくわく塩屋っ子タイム
5月	◆県広域地震・津波避難訓練 振替休日(塩小)
6火	
7水	◆村校長研修会
8木	◆離乳食実習 ◆定例教育委員会
9金	◆おおぎみ展(塩屋小) ~11日
10土	

むかしや

あんしえったん

塩屋橋完成記念切手、赤橋のナゾ



前回の記事で写真の掲載ミスがあり、誠に申し訳ございませんでした。古い写真は1963年6月5日、旧塩屋大橋開通式の銀色の橋の様子。それに対し、同日発売された記念切手には何故か赤い橋が描かれており、不思議だった。沖繩タイムスの記事から、最終塗装前の赤い下塗り状態の絵画が切手になったのであると推察できたが、どなたか当時の真相をご存知の方がいらっしゃったら是非教えてほしい。さて、1978年に銀橋から生まれ変わり、赤橋として人々に愛されたこの橋は、1999年に橋としての役目を終え、現在は根路銘沖の海底で漁礁として活躍している。



2000年 出典：「塩屋橋物語-心の遺産-」沖縄総合事務局北部国道事務所



今年、赤橋の13年忌法要も計画されているよう

村内あれこれ



伝統行事で豊作・豊漁を祈願 塩屋湾のウングミ

国の重要無形文化財に指定されている「塩屋湾のウングミ」が9月11日、同湾と周辺地域で行われました。午前11時過ぎから、神人(カミンチュ)らが田港と屋古のアサギで祈りを捧げ、伝統ある儀式で地域の豊作、豊漁などを祈願しました。午後からは塩屋湾を横切る御願パーリー、ならびに兼久浜での豊漁祈願の儀式が行われました。



国頭郡体協で女子バスケが優勝

第49回国頭郡バスケットボール大会が8月26日と9月2日の2日間、国頭村総合体育館で行われ、大宜味村女子バスケチームが優勝を飾りました。同大会で女子バスケチームの優勝は数十年ぶり。宜野座村との決勝は72対71の接戦で、第1クォーターでは相手に10点差以上引き離され、粘りの試合展開となりましたが、第3クォーターで3点差まで縮めると、第4クォーターで主導権を掴み逆転。毎年、選手集めに苦労していましたが、今年は帰省していたメンバーも加わり、本来の強さを発揮しました。また、男子バスケットチームも準優勝を飾りました。



村陸上競技大会 塩屋区が4連覇

第65回大宜味村陸上競技大会が9月22日、23日の両日、大宜味小学校グラウンドをメイン会場に行われました。トラック競技35種目、フィールド競技21種目に各区の代表選手が出場し、練習の成果を競い合いました。昨年に続き、一般男子・壮年・一般女子の部の全てにおいて、塩屋区が強さを見せつけ、大会4連覇となる総合優勝に輝きました。総合2位、3位は喜如嘉、謝名城。



台風にも負けず豊年祭開催

2ヶ字合同で行われる「大宜味・大兼久豊年祭」が、9月15日、大宜味小学校体育館で行われました。台風の影響から体育館で開催される豊年祭は前回2010年に続いて2回連続。台風であっても、決められた日に豊年祭を行うという区民の強い気持ちは開催へと結びつきました。大宜味区の山城宗隆区長は「子供から大人まで参加し、郷友会も含めた地域の絆を深める一大行事。皆さんの協力で開催できたと感謝しました。大兼久区の前田正宏区長は「悪天候での開催には踊り手も含め、地域全体の積極的な取り組みがあった。次回は天候の良いことを願う」と話しました。